



事務局

みずとみどり研究会気付(申込・問合わせ)

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX:042-327-3169

E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

URL:http://www.japan-mizumap.org

2011年12月発行

発行部数 6,000部

第8回 2011

身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

第8回
調査結果概要

2011

目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2011 全国水環境マップ 第8回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方	P. 7
東北地方	P. 8
北陸地方	P. 9
関東地方	P.10
中部地方	P.11
近畿地方	P.12
中国地方	P.13
四国地方	P.14
九州地方	P.15
沖縄地方	P.16
V 一斉調査結果の活用事例紹介	P.17
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第9回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第9回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

「身近な水環境の全国一斉調査」とは

毎年6月に統一調査日を設け、市民団体と河川管理者などの連携により、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を調査しているものです。

本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者の皆さんのご意見を記載しています。

本調査は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています。
今回の調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。



印刷 株式会社 雄文社





年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。

多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉に調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。そのため全国で水質調査を実践している市民団体等が国土交通省及び財団法人河川環境管理財団と連携して、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、全国の水環境マップを作成することにしました。

「身近な水環境の全国一斉調査」により多くの河川などで水辺の様子や水質などの現状が把握できます。一斉調査は当日の天候にも影響されますが、さらに継続して実施することにより水環境の変化やその原因などが明らか



になります。市民が自ら水質を調査し、水環境の実態を明らかにすることにより、その保全と修復に関する今後の活動へ発展することが期待されます。

「身近な水環境の一斉調査」は2004年6月に開始され、8年間で延べ59,000人の市民や学校の子どもたちが参加しました。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。



目的と意義

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐを知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおよそ1年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

調査の概要

調査日：2011年6月5日（日）を中心に実施

調査者：『全国水環境マップ実行委員会（委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授）』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。

調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、簡易測定器材でCODを測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と三種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、簡易測定器材でCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することで簡易測定器材の反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD（化学的酸素要求量）

水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の調査は簡易測定器材を用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

調査の手法

●採水

- ①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
- ②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
- ③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
- ④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
- ⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●CODの測定

- ①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
- ②添付の操作手順書に従い測定します。
- ③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
- ④同じ試水で3回測定します。



調査結果の概要

がんばれ日本!! 続けよう市民モニタリング

今年の3月11日に発生した東日本大震災や福島第一原発事故により被災された皆さまにはお見舞い申し上げます。被災された皆さまが一日も早く平常な生活を取れ戻すように祈念いたします。

そのような中、6月5日に実施した全国一斉調査ではありますが、事前にご登録をいただいた東北地方の各県の参加者の皆さまにも実施していただきありがとうございました。

また、台風や大雨それに伴う土砂災害などが九州、四国や近畿地方等であり、全国各地での自然災害が多数発生致しました。

しかし、おかげさまで今年も47都道府県での実施、データを蓄積することができました。

全国統一日

調 査 日 2011年6月5日(日)
参加団体数 499団体(個人参加含む)
調査地点数 2,755地点

調査総数 (全国)

期 間 2011年5月2日～7月31日まで
参加団体数 906団体 [参考: 第1回 531団体、第2回 1,000団体、第3回 944団体、第4回 917団体、第5回 997団体、第6回 1,011団体、第7回 913団体]
地 点 総 数 5,653地点 [参考: 第1回 2,545地点、第2回 5,018地点、第3回 4,923地点、第4回 5,473地点、第5回 6,241地点、第6回 5,683地点、第7回 5,909地点]
※4月や8月に実施した調査結果を送っていただいたところもありますが、こちらは参考値とさせていただきます。

調査地点 (海外)

イギリス テムズ川 2地点

調査のまとめ

今年は、3月11日の東日本大震災と未曾有の津波被害、そしてその後の福島原発事故の発生で一斉調査への影響が懸念されましたが、一部地域・団体を除きほとんどの申込団体の皆様が一斉調査を実施することができ、これまでとほぼ同様の成果を上げることができました。

第8回目となる今回は、これまで以上の7000地点余の申込がありましたが、6月5日の一斉調査日前の台風2号と大雨の影響も加わり、上記の結果となりました。

しかし、今年から四国の吉野川で河川管理者などの行政と市民団体等が協働して行っている吉野川流域一斉調査も、この全国一斉調査の一環として連携実施することとなり、97団体が参加され321地点で調査されました。

今後本調査が全国の河川や水辺で市民と関係行政機関、学校、研究者、企業などと連携・協働して実施され、大きく広がっていくことを期待しているところです。

調査実施後に参加者から送られてくる調査結果データとともに、調査したそれぞれの地域の河川の様子や添えられた写真やコメントも貴重な記録となっています。コメントには「昨年と比べて水質が良かった」、「毎年調査をして〇〇〇を感じとることができる」などと言った継続していることで分かる時系列の比較についてのものや水質調査の項目を増やしたり、生きものの調査や河川ゴミの記録を新たな取り組みとしたり、活動が広がってきている内容のものもありました。

なお、第8回となる今年も(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受け、(株)共立理化学研究所からは全面的な支援をいただくとともに調査器材のバックテストの無償提供をしていただきましたことを併せて報告します。



全国一斉調査諸データの推移

●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

作成: 全国水環境マップ実行委員会

都道府県 番号	都道府県名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
		調査団	調査地	調査団	調査地	調査団	調査地	調査団	調査地	調査団	調査地	調査団	調査地	調査団	調査地	調査団	調査地
1	北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158
2	青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31
3	岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49
4	宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30
5	秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11
6	山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51
7	福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48
8	茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297
9	栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5
10	群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46
11	埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454
12	千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66
13	東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599
14	神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277
15	新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335
16	富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28
17	石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13
18	福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49
19	山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194
20	長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196
21	岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26
22	静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34
23	愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78
24	三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47
25	滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721
26	京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119
27	大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301
28	兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150
29	奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55
30	和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22
31	鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4
32	島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11
33	岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195
34	広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18
35	山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17
36	徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376
37	香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12
38	愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237
39	高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72
40	福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60
41	佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57
42	長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12
43	熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3
44	大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18
45	宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38
46	鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8
47	沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32
	合計	547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660
	実団体数	531		1,000		944		917		997		1,011		913		909	

ただし調査団体数は同一団体が他府県に及んでいる場合重複カウントしている。下の数値が真値。

●調査グループ記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602

調査グループ記入票の人数は参加者からの記入されているとおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

●一斉調査日実施状況

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
団体数	360団体	600団体	587団体	547団体	508団体	569団体	510団体	499団体
地点数	1,875地点	3,288地点	3,044地点	3,158地点	3,483地点	3,072地点	2,755地点	2,755地点

●海外データ

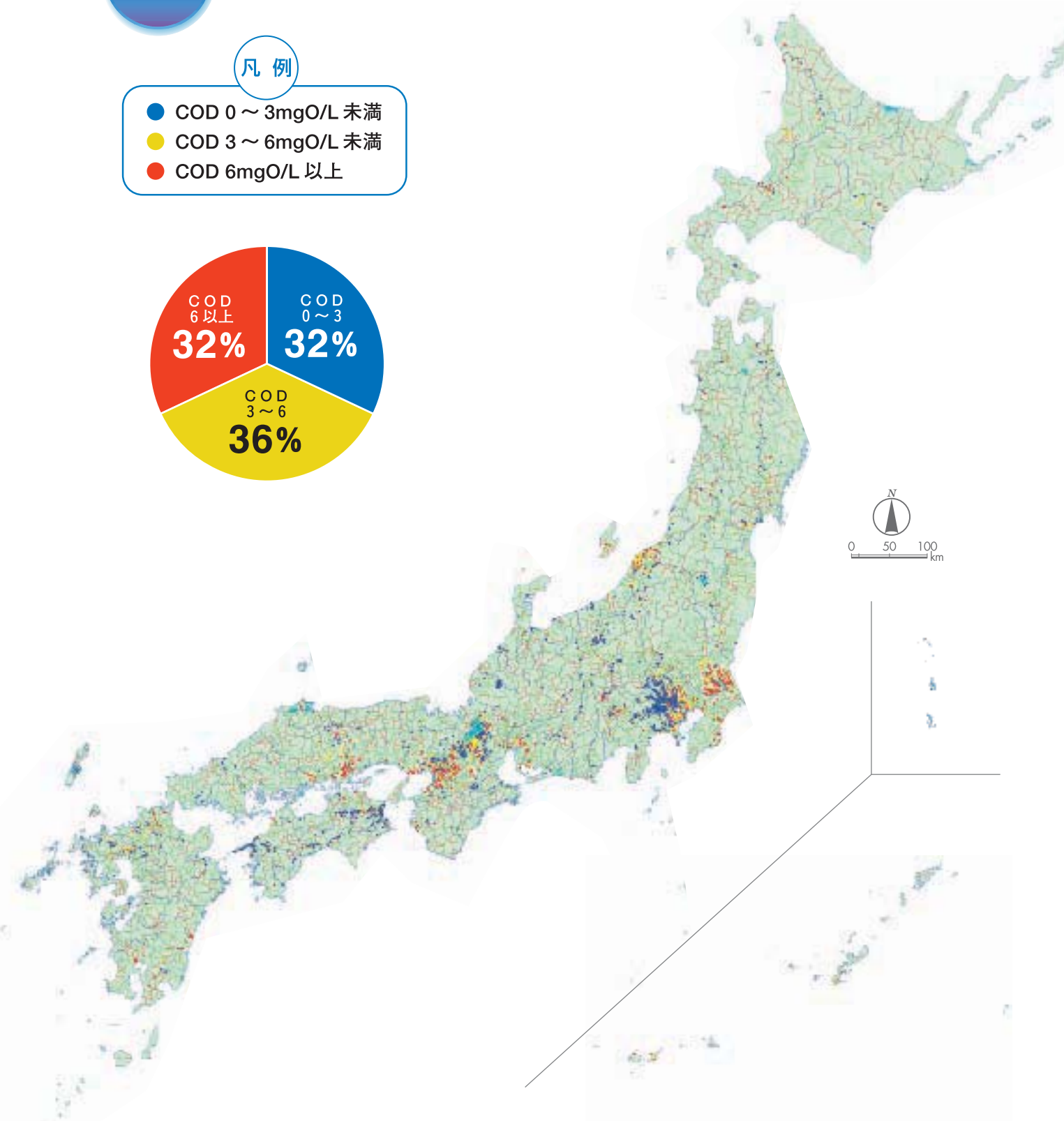
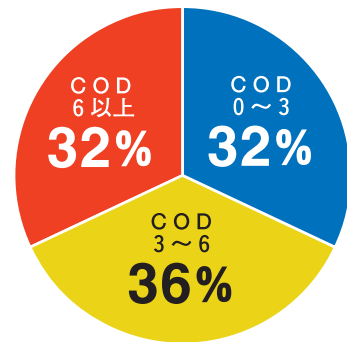
国名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	2009年	2010年	2011年
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	地点数	地点数	地点数
中国	8	5	63	—	3	—	2	1	—	—	—	—
韓国	4	1					3	2	—	—	—	—
チェコ共和国				1					—	—	—	—
イギリス									—	—	—	2

2011 全国水環境マップ

第8回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

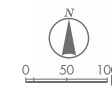


2004 全国水環境マップ

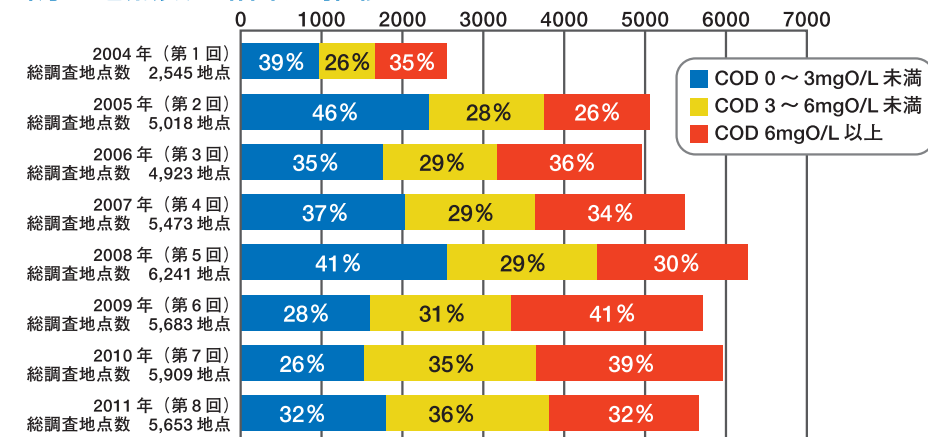
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果 水質調査の結果と分布

凡例

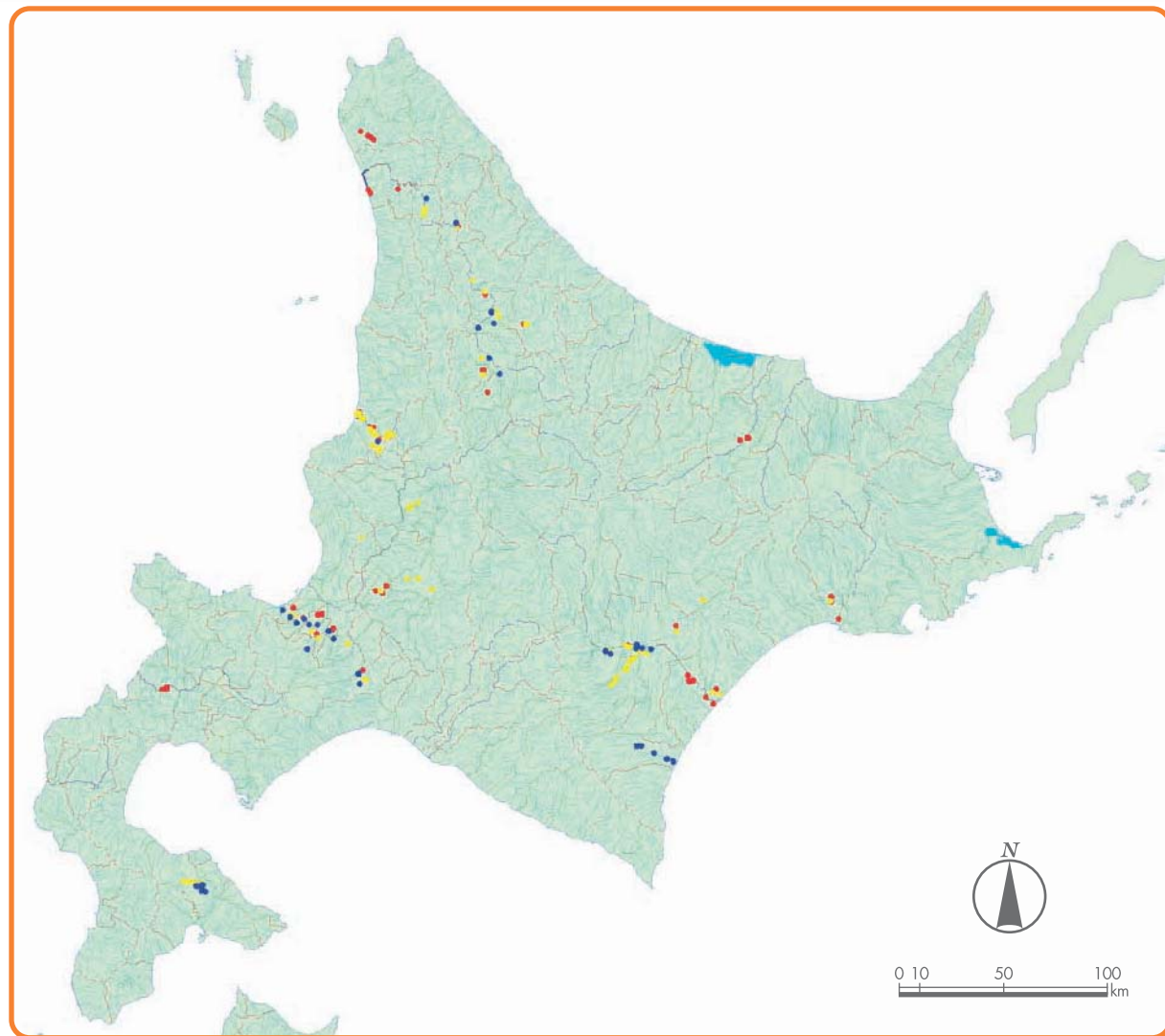
- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



調査地点数と結果の推移



北海道地方

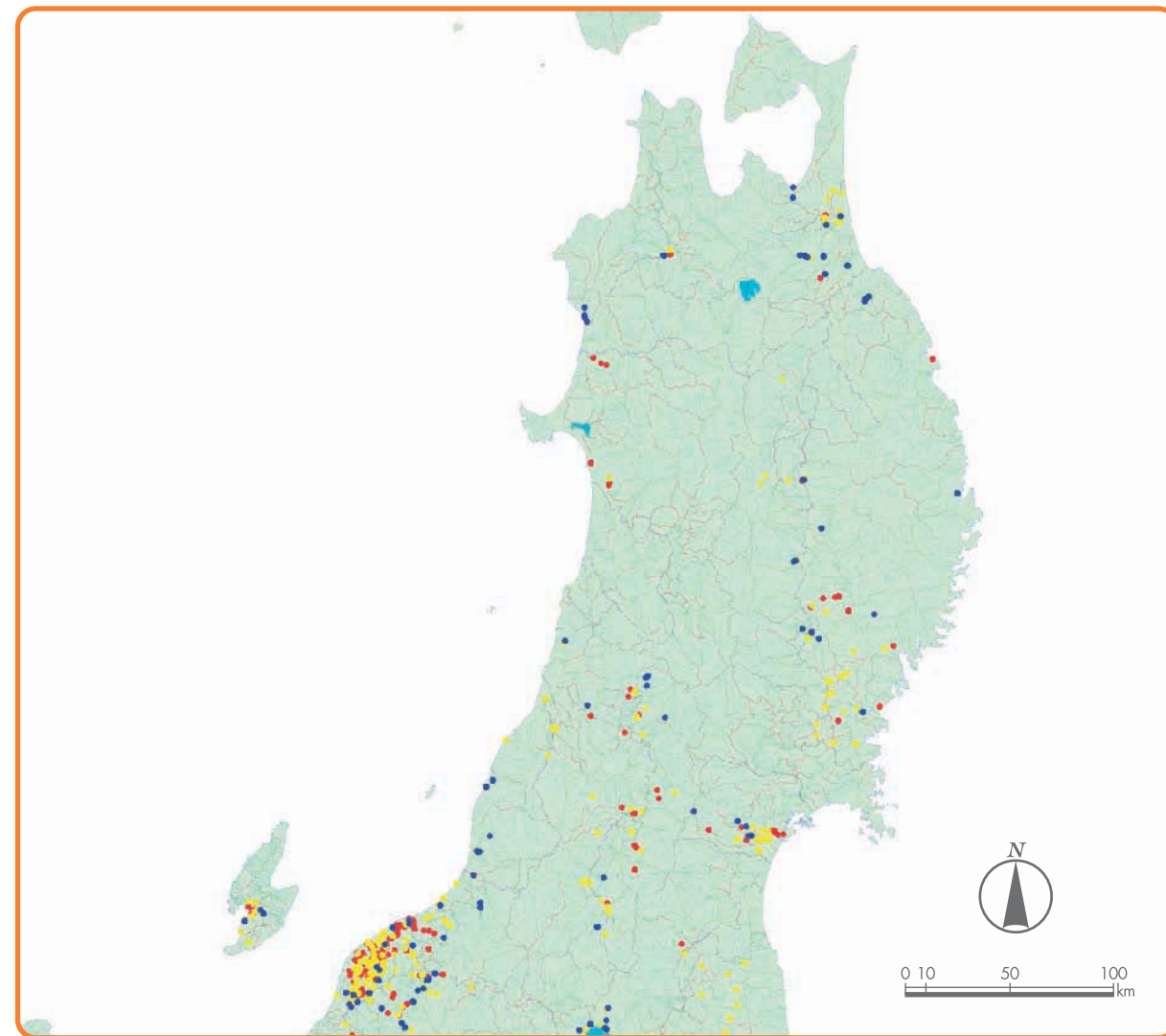


参加者からのコメント

- ・河川水のCOD値は一定ではなく、ずいぶん日によって違うものだということがわかりました。
- ・下水処理場の検査室の協力で任意調査項目実施できた。
- ・子供たちが浅瀬で水遊びをしています。

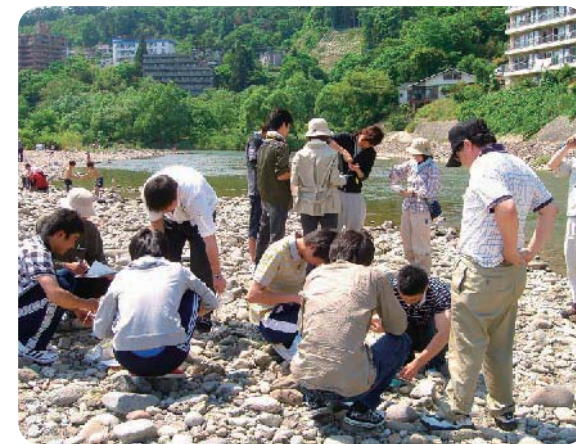


東北地方

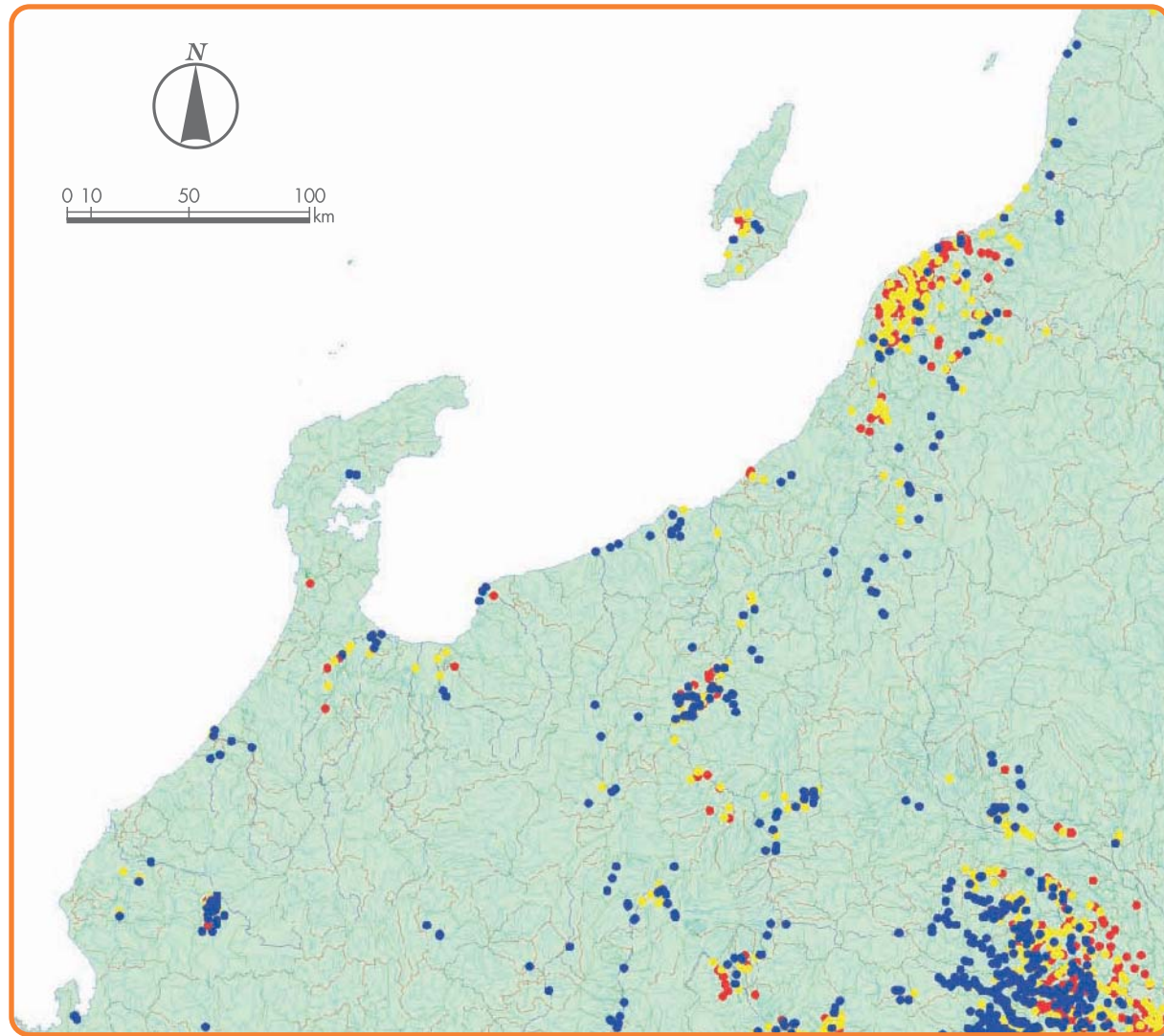


参加者からのコメント

- ・過去7年間は鳴瀬川を調査してきましたが、データ的に大きな変化はないので、後年再度行うことにして、今回は初めての川の調査となる。
- ・東日本大震災の影響で下流域の調査は被害の関係で危険であると判断し、今回は工事している下流域を外して行いました。
- ・川が汚れてしまう原因や川を汚さないために自分たちで出来ることなどについて考える良い機会になりました。



北陸地方

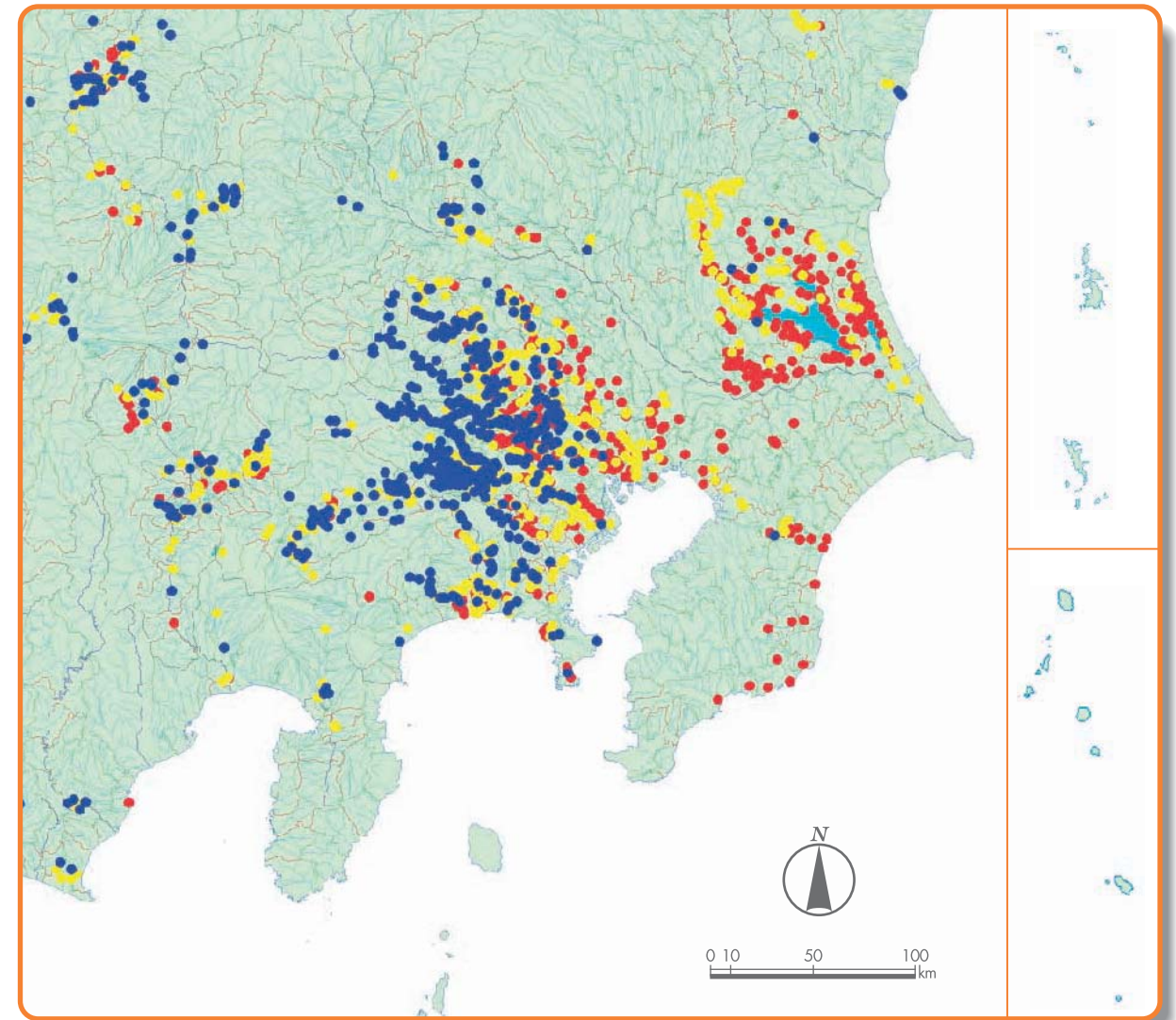


参加者からのコメント

- ・雨のせいか、去年と比べて動物の気配が少なかったと思います。また、通りがかりの人たちから、「水質調査というと、放射能の関係ですか」と、何度か訊ねられました。
- ・毎年6月第1日曜日の恒例行事としている。
- ・水質調査に合わせて、午後からは他の水環境調査を実施している。（今年度は、ペットボトル簡易ろ過器製作・実験）昨年に比べ水路等のゴミは少ない。
- ・比較や継続ができるように、今後も同じ試薬やマニュアルをいただけるようにお願いします。
- ・川の変化について、(今と昔)の欄があるが行政に活かされるように進言してほしい。
- ・いつもきちんと試薬やマニュアルをいただき感謝致します。



関東地方

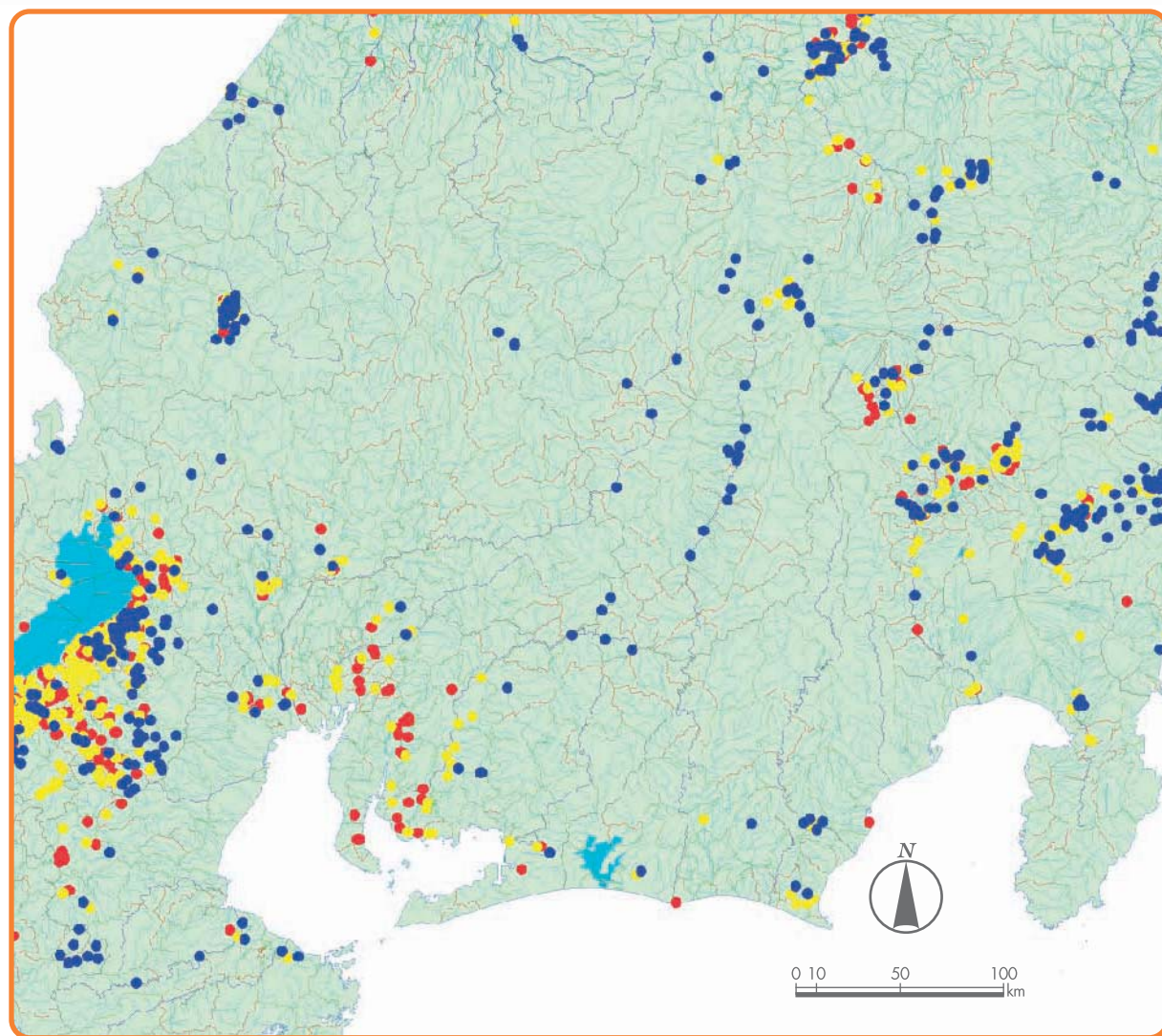


参加者からのコメント

- ・小学校の日程に合わせ調査日を変更しました。小学生も興味を持って参加していました。これからも継続して調査を行っていく予定です。
- ・若い方の参加が無く苦労しています。平均年齢70歳。
- ・8年間和泉川の3か所を毎年やれたこと、8冊の観測測定結果を見て、積み重ねることの大切を味わった。これを機会に境川の水辺の1部の調査を健康のために年1回か2回くらい調査しようかと話し合った。
- ・調査始めてから正常な清流に戻っています。伏流水となっているので水質は良くこのまま継続できればと願っています。



中部地方

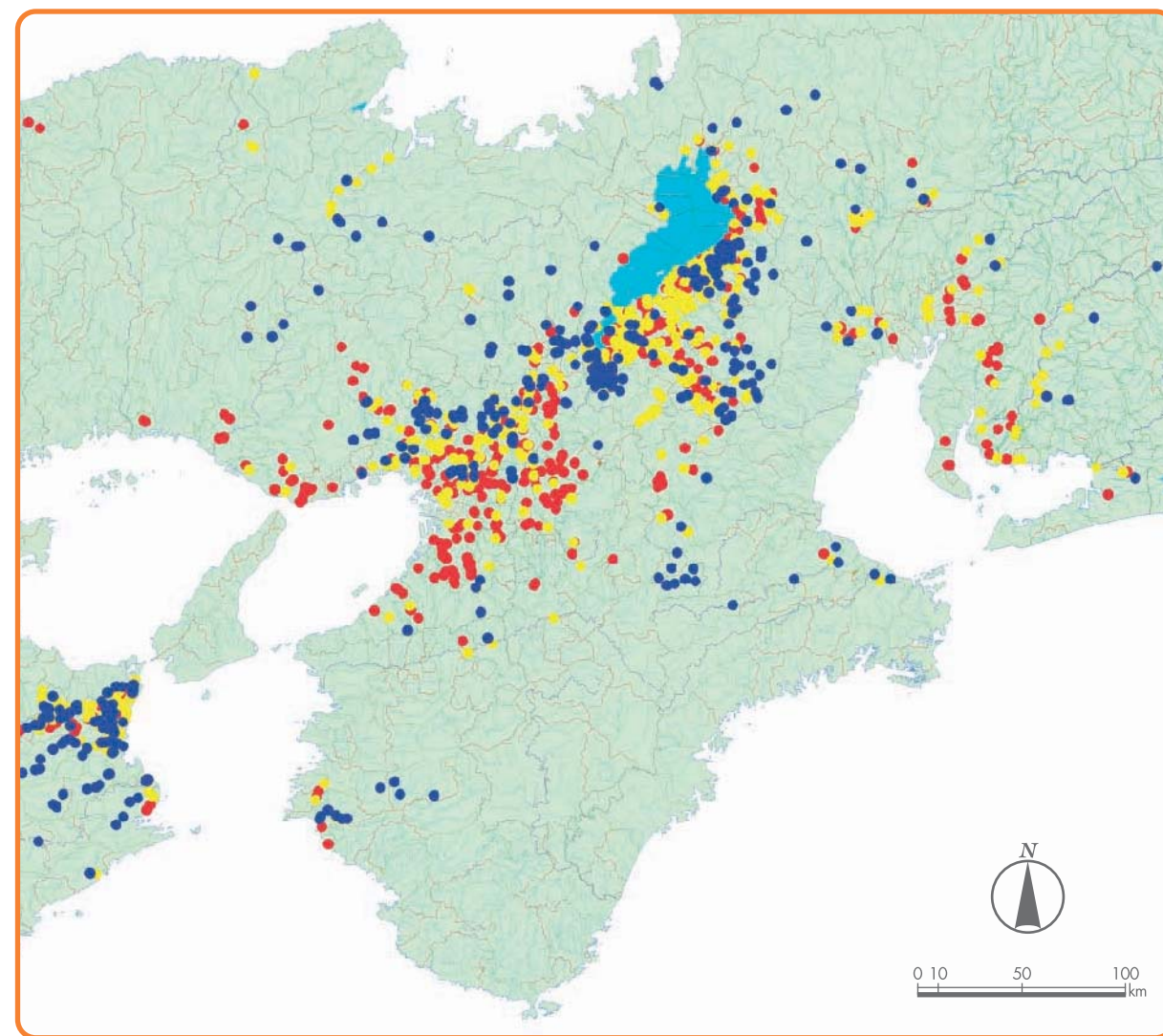


参加者からの コメント

- ・初めてでしたので始まるまで心配でしたが、いざ作業はじめてみるとスムーズにマニュアル通り出来たので安心しました。出来れば続けていきたいと思います。
- ・この調査で水について関心を持ってもらえたかどうか8以上の数値の地点を継続的に測定してみたい。
- ・水の汚れは、工場排水より家庭からの生活排水が多いように思う。魚など昔はよく見られたが、最近ほとんど見られない。

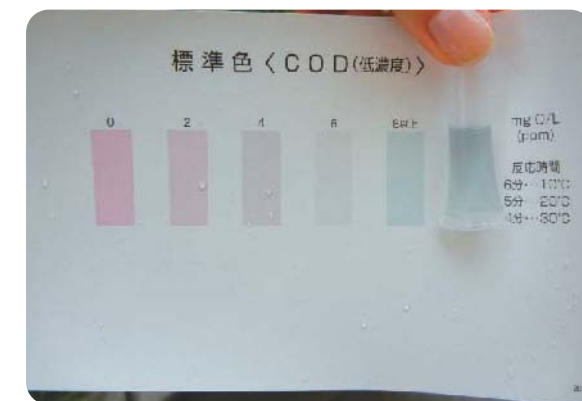


近畿地方

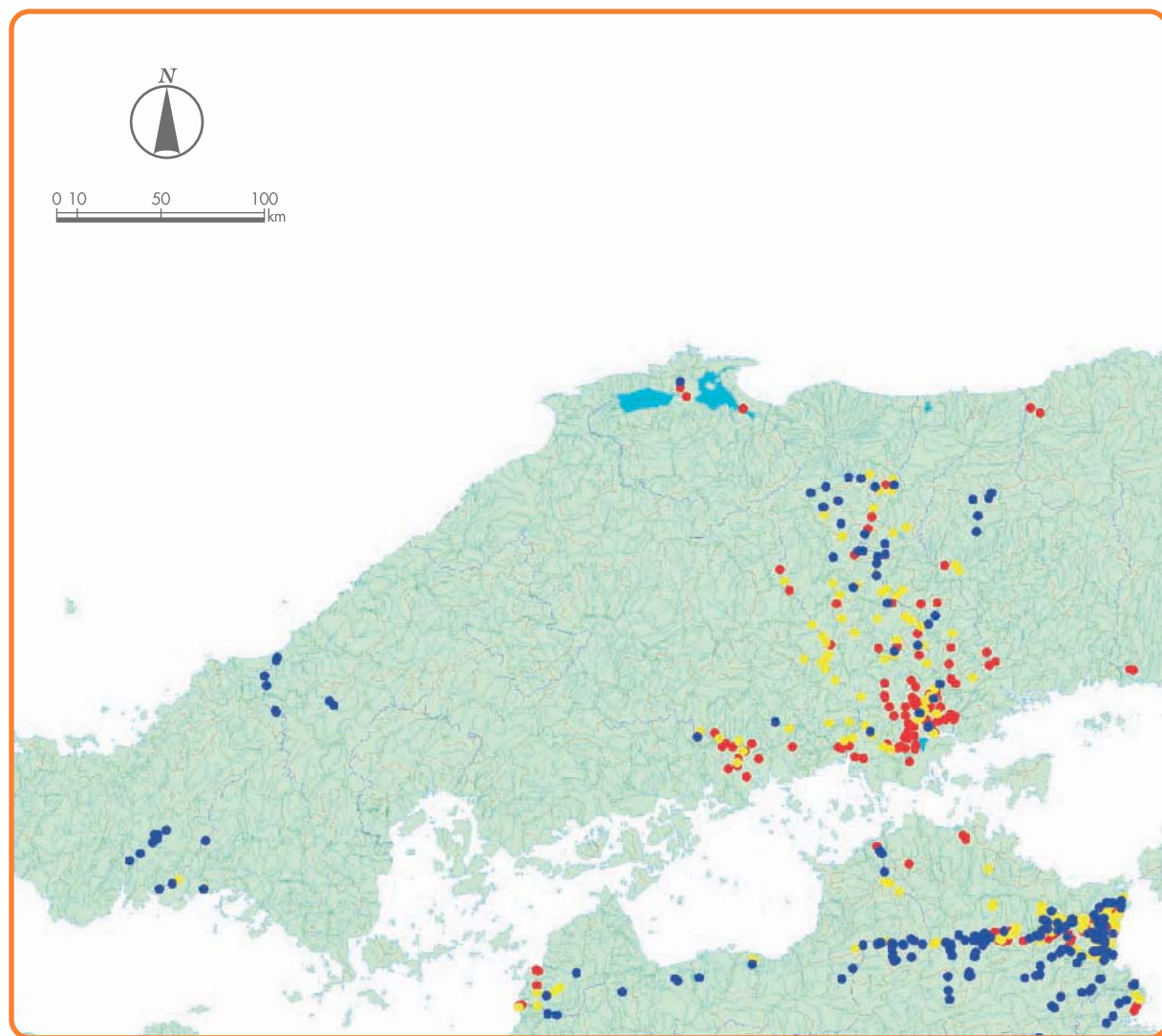


参加者からの コメント

- ・谷川はCOD8悪臭のある川であったが、流域に谷川公園を作り流れにドンドをつくったり流速も急にしたり改善され、住宅地の区民の協力もあり著しく改善された。COD 3で一番良い結果であった。住民参加の力を感しました。
- ・地元小学校の子ども教室イベントとして開催。身近な川を上流から下流まで水質調査することで、子どもに良い勉強になったと思う。来年以降も継続したい。
- ・初めて調査をしました。身近にある川（市街地の川）は“立ち入り禁止”の場所がほとんどで、簡単に水辺に近づけないことに改めて気付きました。



中国地方

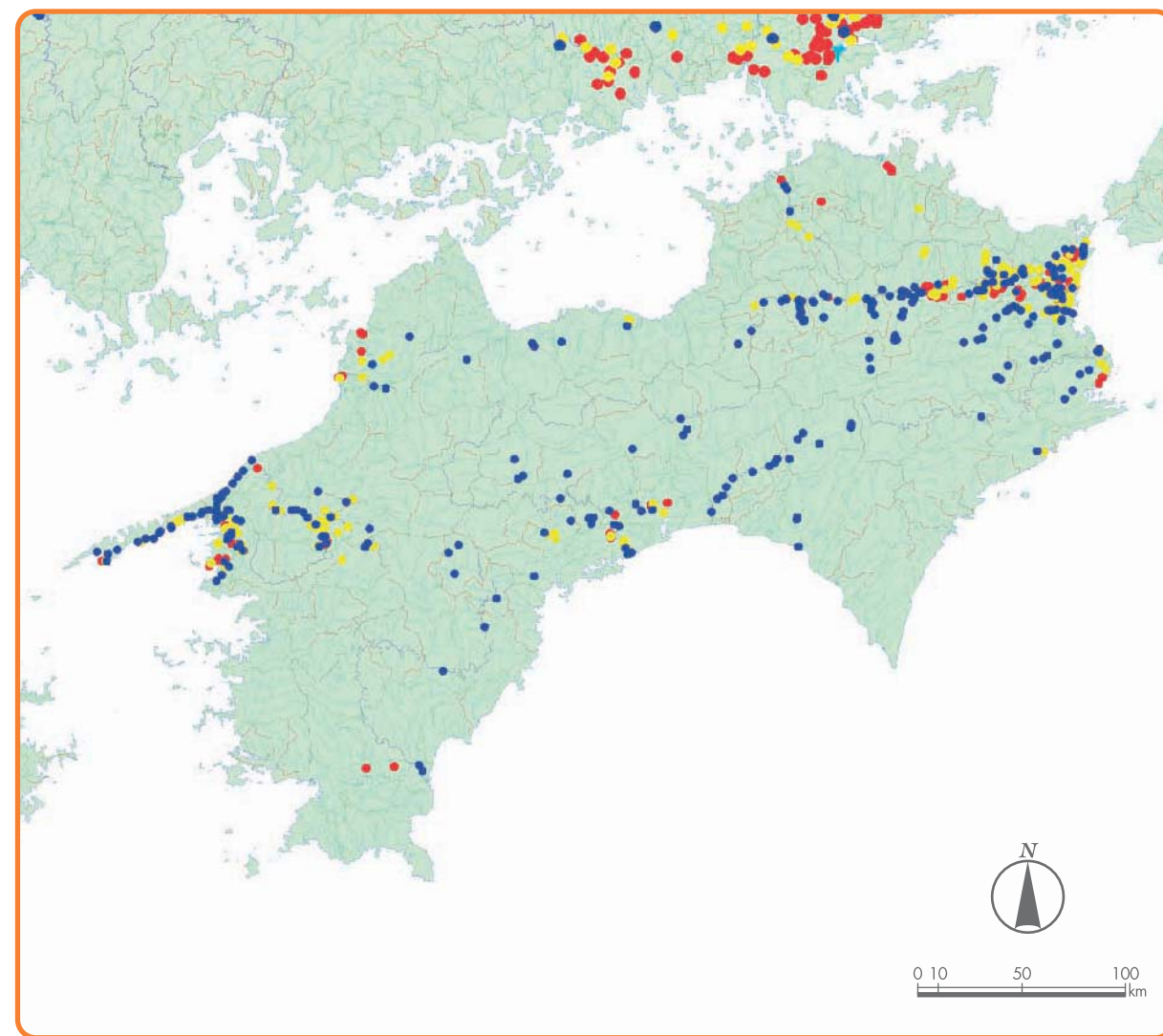


参加者からの コメント

- ・昔はもっときれいだった（泳げるくらい）。生活排水が流れており、汚い。
- ・川の匂いがきつかった 増水の後の草がひっかかっていた。
- ・見た目よりも水質は良かった。川の水はあまりすんでいなかったし、川底は黒いヘドロで覆われていて魚の姿がよく見れなかった。河岸にはゴミが多く浮いていた。



四国地方

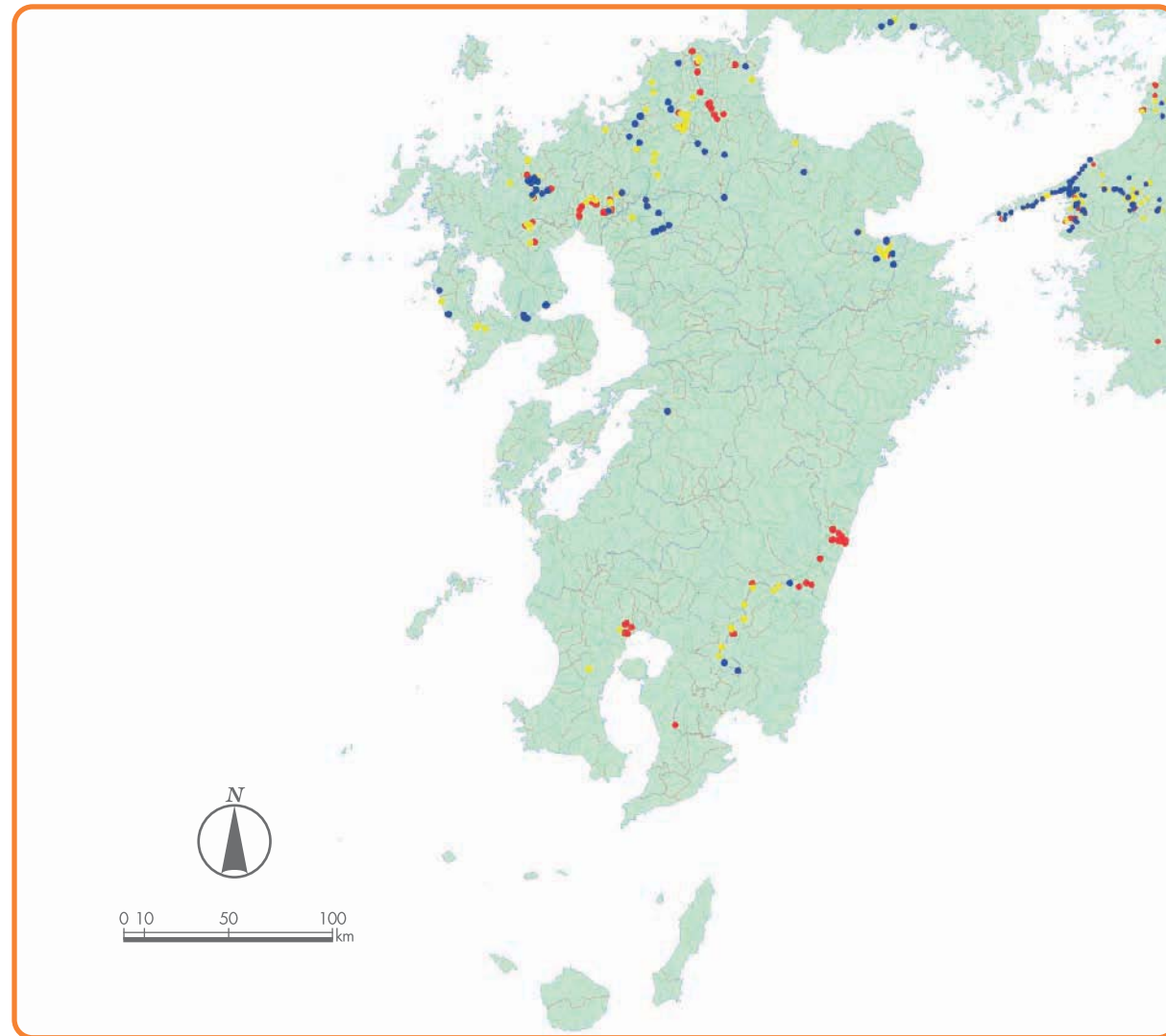


参加者からの コメント

- ・吉野川流域一斉水質調査に3年間参加してきました。身近な川がどんな川なのか。知る良い機会だと思い今回も参加しました。梅雨時期でなかなか調査することが難しかったので、梅雨明けくらいの調査を希望したいです。
- ・今回初参加のため少人数で調査しましたが、将来いろいろの調査を地域の人たちと出来るようになればと思っています。
- ・これからも調査を希望します。1週間前に台風の大雨が降り、川はきれいでした。美しい川を大切にしなければと思います。調査する仲間を増やしたい。
- ・100年以上続けましょう！ 放射能測定も出来たらいいのという意見もありました。



九州地方

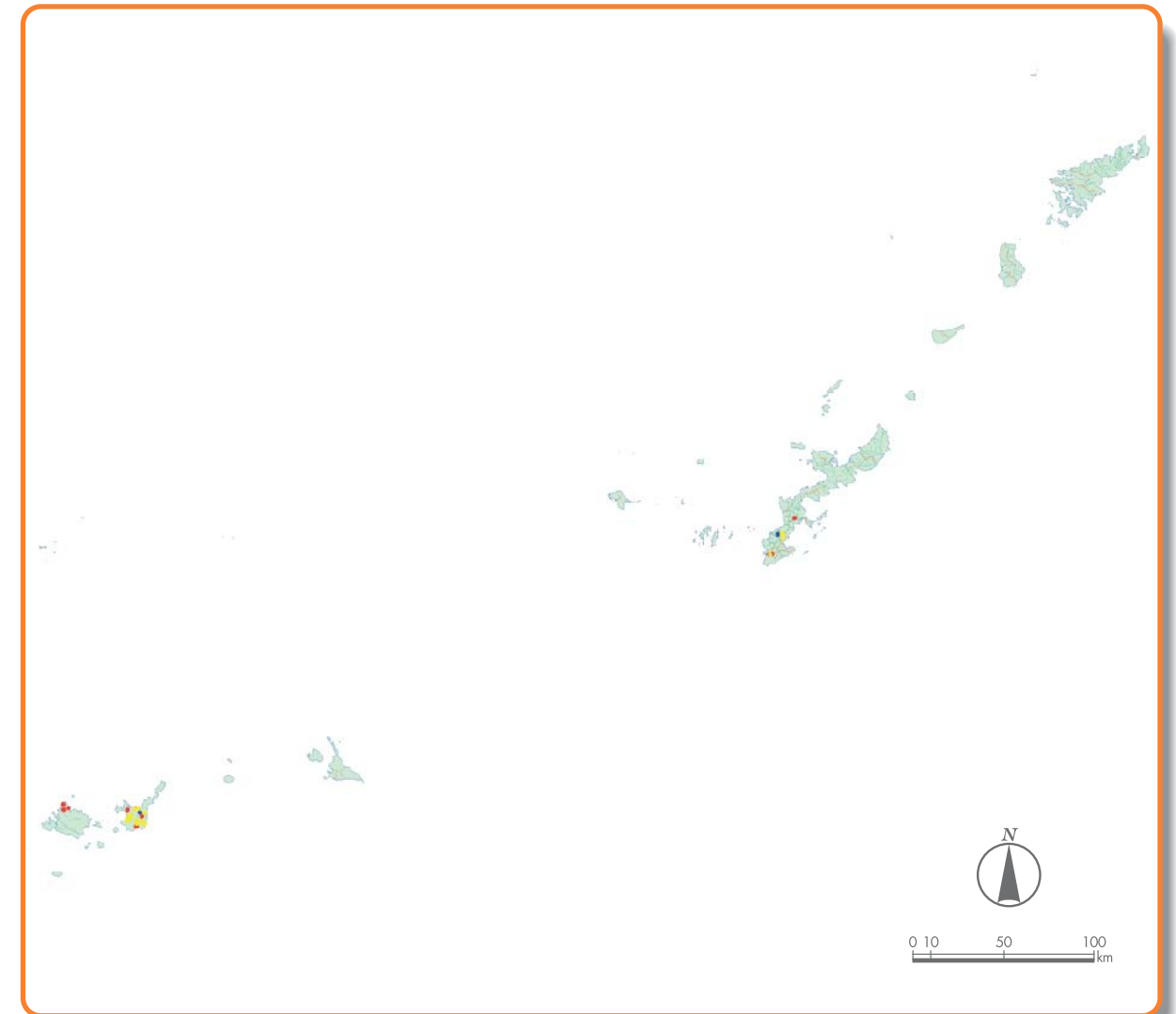


参加者からの コメント

- ・6/11も6/12も雨でした。残念。しかし、全国一斉調査をやりました。来年は晴れたらいいなと思います。
- ・水環境調査のデータをまとめ、市子どもクラブ活動実績発表に出場しました。子どもの好きな川ガニやコイなど写真も用意して発表できました。
- ・当団体では、調査箇所を5班に分けて実施しているが、7月の土日が毎回 雨天で例年のように一斉に調査が出来なかった。各班で天候を判断しながら別々の日に調査を実施した。



沖縄地方



参加者からの コメント

- ・2005年から徐々に値が上がってきた。場所は最初のころより少しずれているが、川の中ほどが、川岸より汚いということか？漂着ゴミが増えたか、遊覧船が増えたかで、値が上がってきたのか？とても残念。
- ・毎年、水質調査をしていますが、今回は生き物が少ししか見れなかったような気がします。
- ・市営住宅ができてから（H18）生活排水（浄化槽を通した水）の混入があると住民からの意見があった。



本調査を中心に全国各地で独自にまとめたマップや報告書、ホームページ等の取りまとめ結果が事務局に多数寄せられています。特にマップについては各地、各流域で独自のまとめ方をしており、特徴的なものが数多くありました。それらの事例を紹介いたしますので、参加した皆さんの今後の活動に役立てていただきたいと思います。

活用事例

財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
(略称 MELON) 水部会

MELON 水部会は毎年6月第1日曜日に実施されている身近な水環境の全国一斉調査に第1回より参加していますが、広瀬川を調査地点に毎年継続して調査していますが、昨年より東北工業大学環境情報工学科山田研究室の授業の一環として合同で実施しています。これは環境問題解決に向けた地域社会での取り組みをそれに携わる市民との交流を通して理解することを目的にしています。

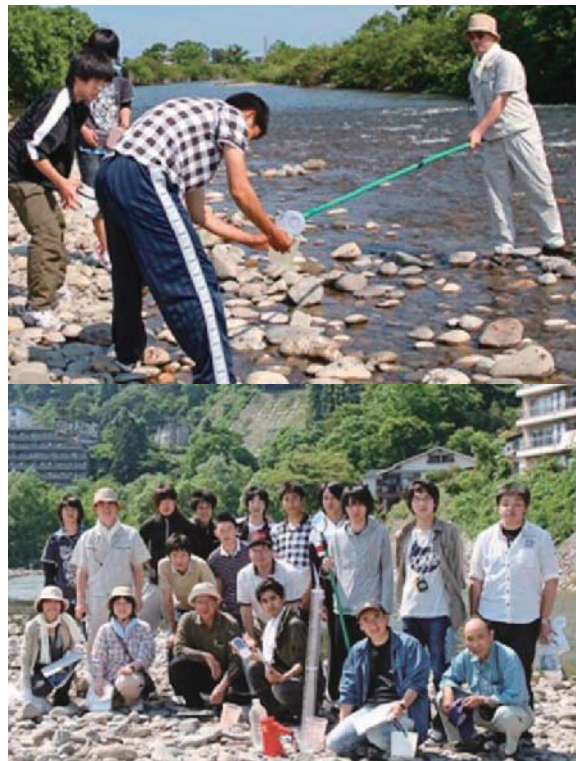
今年は日程調整の都合により6月19日(日)に実施しました。参加者はMELON水部会6名、東北工業大学の教員2名、1年生12名、事務局の合計21名の参加でした。MELONの活動や歴史について話をしながらマイクロバスに乗っての移動調査でした。

部会メンバーと学生の混合で「アユ」、「イワナ」、「ヤマメ」、「サケ」の魚の名称の4グループに分かれて、同じ地点を調査しました。調査項目は全国一斉測定で指定されたCOD、アンモニア態窒素のほかに広瀬川の流域が市民にとって親しみやすい場所かを調査するため五感を使った水と水辺の様子などについて調査。全国事務局提出用は「アユ」グループが担当しました。

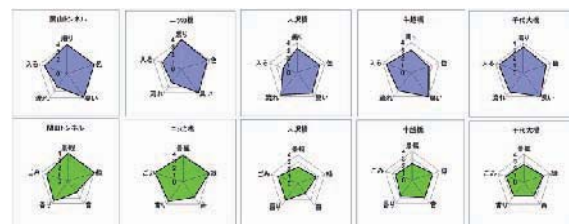
9時に東北工業大学をマイクロバスで出発、途中で水部会メンバーを拾って、国道48号線を広瀬川の源流関山トンネル入り口まで下り(傾斜はのぼり)ました。

トンネル脇の風倉沢、上流のニッカウキスキー仙台工場入り口の「ニッカ橋」、中流の大沢橋、牛越橋の河原、国道4号線バイパス千代大橋下流の河原の5地点で調査を実施し、定刻どおり15時30分には終了しました。

五感を使って感じた4グループの数値を平均してグラフ化にするなど調査の結果をまとめています。



五感を使って水辺の観察した結果をグラフ化



■五感を使って水を観察

	4	3	2	1
① 水はにごっていますか	透き通っている	濁りが少し見える	濁っている	かなり濁っている
② 色はついていますか	色はついていない	—	—	色がついている
③ 臭いはどうですか	臭いがしない	少し感じる	少し臭う	きつく臭う
④ 水は流れていますか	やや早い 20cm/秒 以下	早い 50cm/秒 以下	早い 50cm/秒 以上	ほとんど流れていない
⑤ 水の中に入れますか	泳げる	足までなら入れる	足元まで入る	水くみ程度

■五感を使って水辺を観察

	4	3	2	1
① 水辺の周囲の様子	山や森がある	田畑や林	家や田畑	家や商店・工場
② 岸・土手などの緑量	中・高木あり	草・低木が少し	草がまばら	コンクリート・石
③ 周囲の音	自然の音がする	やや自然の音	やや人工的な音	人工的な音
④ 周囲のにおい	自然の心地良い香り	自然の香り	やや不自然なにおい	不自然なにおい
⑤ ごみの目立ち具合	ごみはない	目立たないが少しある	少しある	たくさんある

活用事例

「吉野川流域一斉水質調査」
国土交通省 徳島河川国道事務所

吉野川は、坂東太郎(利根川)・筑紫二郎(筑後川)とならび四国三郎と称される四国を代表する河川です。

この吉野川流域の河川を対象に、四国四県に住む皆様に、身近な川や水に触れ、楽しみながら川や水の環境を知っていただきたいとの思いで、平成12年から「吉野川流域一斉水質調査」を実施しています。

これまでの延べ参加人数は約6,900人、延べ調査地点数は約12,400地点と、多くの方々に参加・調査していただいています。

今年から、吉野川流域で計測した水質結果を全国版へ情報発信し、他河川と情報共有することを目的に、この全国一斉調査に初めて参加させて頂きました。6月5日の調査日は、あいにく曇り時々雨のぐずついた天気でしたが、97団体と多くの方々に参加して頂き、皆様が事故なく無事調査を終えることができました。

調査結果は、毎年、吉野川流域一斉水質調査の結果として冊子にとりまとめ、参加して頂いた方に配布したり、インターネット上で公表(<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/river/event/suishitu/issei.html>)したりしています。結果は“自由研究”や“水質の経年変化調査”“学習素材”などに利用され、参加者の皆様からは、“楽しかった”や“恒例行事として楽しみにしている”などの意見を頂いています。

今後も、この調査を通じて、多くの方が身近な川を知り、感じることで川や水に関心をもっていただけるように活動を続けていきたいと思います。



参加者の皆様方以外に、調査協力機関として国土交通省・(独)水資源機構等が公定分析による水質調査を実施して結果を比較できるようにしています。

参加者の皆様方に調査して頂いた結果をもとに、吉野川の水質マップを作成しています。今年の吉野川本川の水質は2.4mg/l(CODの平均値)でした。吉野川には四国一の清流と称される穴吹川が流れこむなど、きれいな川がたくさん流れています。

「吉野川流域一斉水質調査」

<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/river/event/suishitu/issei.html>

継続調査参加団体

啓動賞

8年参加(結果提出)団体 (合計105団体)					
北海道	NPO法人十勝多自然ネット	埼玉県	環境白門会	東京都	個人参加
青森県	南部ふるさとの川連携協議会	埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	日野市消費者運動連絡会
青森県	八戸市立島守中学校	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	八王子西南地区環境市民会議
宮城県	NPO法人宮城県河川環境研究会	埼玉県	川づくり清瀬の会	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会
宮城県	自然塾カワセミクラブ	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	浅川勉強会
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	埼玉県	生活クラブ生協所沢北支部	東京都	東京NPO - 21研究所
茨城県	(社)霞ヶ浦市民協会	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	エコネット町田
茨城県	石岡市	埼玉県	所沢源流の会	東京都	はむら水と緑の会
茨城県	牛久市	埼玉県	白子川源流・水辺の会	東京都	環境・国際研究会
茨城県	つくば市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	玉川上水ネット
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	府中かんきょう市民の会
茨城県	かすみがうら市	埼玉県	西東京生活者ネットワーク	東京都	あおばく・川を楽しむ会
茨城県	茨城町	埼玉県	自由学園	東京都	水の懇談会
茨城県	小美玉市	埼玉県	ふじみ環境クラブ	東京都	国分寺みずっこクラブ
茨城県	笠間市	埼玉県	明法中学校・高校	東京都	A M R
茨城県	鉾田市	埼玉県	東川を愛する会	東京都	東京環境工科専門学校 増穂班・増穂西小
茨城県	神栖市	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク	東京都	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム
茨城県	行方市	埼玉県	浅川流域市民フォーラム	東京都	あらかわエコフレンド
茨城県	美浦村	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	足立区荒川ビジターセンター
茨城県	阿見町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	東京都	林・宮島ファミリーズ
茨城県	河内町	東京都	谷地川探検隊	東京都	いたばし野鳥クラブ
茨城県	利根町	東京都	八王子に清流を取り戻す市民の会	東京都	北区水辺の会
埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	日野市環境共生部 緑と清流課	東京都	秋が瀬にワンドを作る会
埼玉県	武蔵村山市環境を考える市民の会	東京都	八王子市東南部環境市民の会	東京都	小金井クリーン野川研究会
埼玉県	東久留米ホタルを呼びもどす会	東京都	程久保川を考える会	東京都	東京都市大学小堀研究室
埼玉県	新座の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	神奈川県	まちアートの会
埼玉県	不老川流域川づくり市民の会			沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会

5年以上継続調査団体 (8年参加団体を除く)					
北海道	帯広福田冒険遊びの会	東京都	尾久の原愛好会	三重県	しぜん・ふしぎ・ワンダーランドこどもエコクラブ JEC
北海道	留萌川を楽しむ会	東京都	大曽根の湿地ビオトープを守る会	三重県	森員FG会
北海道	たきかわ環境フォーラム	東京都	江戸川生活者ネットワーク	滋賀県	NPO法人瀬田川リバブレ隊
北海道	NPO法人天塩川リバーネット21	東京都	いたばし水辺を楽しむ会	滋賀県	野洲川に親しむ会
北海道	個人参加	東京都	川口市立西中学校 科学部	滋賀県	湖南流域環境保全協議会
青森県	五戸町立中市小学校	東京都	狛江水辺の楽校	滋賀県	環境文化推進市民会議
青森県	HEP21エコクラブ JEC	東京都	江東自転車エコライフの会	滋賀県	草津塾
岩手県	磐石児童館エコクラブ・ワークテンパー JEC	東京都	身近な川の一斉調査実行委員会	滋賀県	栗東市役所生活環境課
岩手県	大深沢水園委員会	東京都	桑袋ビオトープ公園	滋賀県	園グリーンちゅうず
宮城県	(財)みやぎ・緑とくらしネットワーク (MELON) 本部	東京都	個人参加 4名	滋賀県	NPO法人環境を考える会
秋田県	マックスバリュ東北秋田チアーズクラブ	神奈川県	桂川・相模川流域協議会	滋賀県	南部環境・総合事務所
福島県	夢はたると・こおり	神奈川県	早瀬川ファンクラブ	滋賀県	個人参加
福島県	白河くらしの会	神奈川県	ニヶ領用水ウォッチングフォーラム	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会
茨城県	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所	神奈川県	栗野山岳会	滋賀県	鹿深の里 甲賀流域環境保全協議会
茨城県	龍ヶ崎市	神奈川県	NPO法人 藤沢グリーンスタッフの会	滋賀県	野洲川を愛する会
茨城県	潮来市	新潟県	燕市子ども体験活動支援センター	滋賀県	茶釜川を美しくする会
茨城県	稲敷市	新潟県	日本ボーイスカウト連盟 新潟第15団	滋賀県	イワタニランドさとつくり会
茨城県	筑西市	新潟県	長岡技術大学廃棄物・有害物管理工学	滋賀県	ワイワイあほしクラブ
茨城県	桜川市	新潟県	NPO法人五泉トゲンの会	滋賀県	水口エコライフの会
茨城県	土浦市	新潟県	新潟県ビオトープ管理士会	滋賀県	信楽の川自然愛護の会
茨城県	茨城県立日立第一高等学校	新潟県	新潟市民大学講座	滋賀県	甲南高校
群馬県	八幡エコ調べ隊 JEC	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	滋賀県	甲南ボランティアグループ
群馬県	城沼を考える市民会議	新潟県	小阿賀未来の会	滋賀県	甲賀女性風土づくりグループ
埼玉県	白子川と流域の水環境をよくする会	新潟県	日本ボーイスカウト新潟連盟 黒埼第一団	滋賀県	東近江環境保全ネットワーク
埼玉県	西東京の自然を見つめる会	新潟県	越後新川まちおこしの会	滋賀県	きぬがさ「里山に親しむ会」
埼玉県	北多摩自然環境連絡会	富山県	元気マン	滋賀県	日野川を見守る会
埼玉県	黒目川に親しむ会	富山県	個人参加	滋賀県	東近江水環境自治協議会
埼玉県	小川町児童館 JEC	富山県	小矢部川に学ぶ会	滋賀県	環境フォーラム湖東
千葉県	個人参加	富山県	みずはく地域学芸員	滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡会議
千葉県	環境会議おおみしらさと21	石川県	個人参加	滋賀県	日夏ネイチャークラブ
千葉県	たんぼば JEC	石川県	「美川自然人クラブ」	滋賀県	長浜市びわ水環境を守る生活推進協議会
千葉県	自然観察やまぼうし JEC	石川県	NPOフナガヤ・ヘリテージクラブ石川県支部	滋賀県	北郷里小学校
東京都	多摩市水辺の楽校運営協議会	山梨県	市川三郷町上野老人クラブ	滋賀県	合戸地区農村環境委員会 JEC
東京都	浅川潤徳水辺の楽校	山梨県	美鈴愛好会	京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC
東京都	夕焼け小焼けエコミュージアム	山梨県	甲州スポーツ倶楽部	京都府	西京児童館自然探検隊2004
東京都	Kie & Koki	山梨県	みずすまし	大阪府	アクアフレンズ
東京都	桜S R L 遺伝子・染色体解析センター	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂町	大阪府	おおさかバルコープ 南地区活動委員会
東京都	せたがや野川の会	山梨県	小松ファミリー	兵庫県	丹波佐治川自然の会
東京都	社団法人全国上下水道コンサルタント協会関東支部	山梨県	ハヶ野鳥クラブ	兵庫県	NPO法人北はりま田園空間博物館
東京都	株式会社 アイ・エヌ・エー	長野県	軽井沢これぞ?いいん会	奈良県	ボランティアネットワーク 石津川に貼を
東京都	あきしま水辺の楽校	岐阜県	木門川いきいきプロジェクト	和歌山県	日高川町水道協会
東京都	神田川ネットワーク	愛知県	愛知モリコロパークエコクラブ JEC	岡山県	吉井川源流の碑「ごんごの会」
東京都	昭島環境遺産の会	三重県	宮川流域ルネッサンス協議会	岡山県	大田原昭和会

全国水環境マップ 実行委員会名簿

実行委員

氏 名	役 割	団 体 名	都道府県	T E L	E - m a i l
小倉 紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村 直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
綿引 将康	実行委員	NPO 法人天塩川リバーネット 21	北海道	01654-9-6711	revernnet21@ace.ocn.ne.jp
金子 博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤 篤	実行委員	社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-835-2252	kca@cg.mbn.or.jp
渡邊 勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe123@tbz.t-com.ne.jp
大野 和広	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	y.fujii@guitar.ocn.ne.jp
倉 宗司	実行委員	身近な川の一斉調査実行委員会	東京都	042-562-8863	sakoganeikura@yahoo.co.jp
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
佐藤 正兵	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
加藤 功	実行委員	NPO 法人新潟水辺の会	新潟県	025-230-3910	ecoline@mvd.biglobe.ne.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinow@po2.lcv.ne.jp
北田 俊夫	実行委員	NPO 法人びわこ豊穰の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyou@lake-biwa.net
山崎 久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
山本 和宏	実行委員	財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
池田 満之	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県		okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宣宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	088-893-3275	ngckk745@ybb.ne.jp
杉尾 哲	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-20-2377	ooyodogawa@ace.ocn.ne.jp
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1361-1847	jim@ryukyu-ayu.com

事務局

氏 名
高橋 克彦
菅谷 輝美
本間 君枝
佐山 公一

オブザーバー

氏 名
小堀 洋美
空閑 健
金井 信宏
吉野 英夫
伊藤 史朗
今田 陽子
星野 順子



身近な水環境を調べよう！

第9回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の
予定

2012年6月3日（日）を統一調査日として、第9回の全国一斉調査の実施を予定しています。後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施の案内をお送りしますのでよろしく願いいたします。

小倉 紀雄 全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット（無償で配布）を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL <http://www.japan-mizumap.org/>）や国土交通省河川局のホームページで公表されています。

.....

日 時 2012年6月3日（日） 世界環境デー（環境の日）に近い日曜日

測定項目 気温、水温、COD、その他

測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）

参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みずとみどり研究会）に、2012年3月10日までに送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2012年5月頃に配布予定です。

もう一度見直そう！ 市民による環境調査について

本調査の実行委員長であり、市民環境科学の提唱者でもある小倉紀雄・東京農工大名誉教授は、この調査の意義を、「市民が身近な水環境を自ら調べ、得られた結果を整理し実態を明らかにする。それらの活動を通し、身近な環境から地球規模の環境まで広く考え、問題解決のための実践活動に結びつけること」と定義付けています。

市民環境科学の意義は、次のようなことです。

- (1) 身近な環境を自ら調べ、その実態を認識すること。
- (2) 環境を監視（モニタリング）すること。
- (3) 新しい発見につなげること。
- (4) 地域の環境から地球規模の環境を考え、よりよい環境とかけがえのない地球を守る意識を持つこと。
- (5) 環境問題を広く考え、その解決のための実践に結びつけること。

本調査は、市民の手によるモニタリング調査で、簡易測定器材によるものであってもマニュアルに沿った手法で精度を管理し、継続的に調査をすることで調査地点や時期の限られている行政データを十分に補完できるものです。

これまで8回の全国調査は公民の連携パートナーシップですすめられてきました。今後も100年の眼で私たちの力で身近な水環境の調査活動を展開していきましょう。

参考文献：市民環境科学への招待（裳華房、2003）

問合せ先

○事務局 **みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）**
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

全国一斉調査 お申し込み先

FAX：042-327-3169 E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第9回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ（<http://www.japan-mizumap.org/>）からもダウンロードできます。2012年3月10日までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり ☐ 初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

■ 連絡先（グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など）住所、電話、FAX、E-mail（特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可）

住 所：〒

電 話

FAX

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例）○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒に提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

☐ はい ☐ いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月3日に実施する ☐ 6月3日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地 点（水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください）

■ 今後の連絡手段

今後のご連絡についてはEメールを中心に行わせていただきます。Eメールをお使いでない方は、ご希望の連絡手段を、以下にチェックして下さい。

☐ FAX ☐ 郵便物など ☐ 電 話

■ 参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。